

セキュアなアクセスのためのゼロトラストネットワークアクセス(ZTNA)モジュールによるJavaアプリケーションのタイムアウト

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題：Javaベースのアプリケーションを使用してZTNAモジュールからプライベートリソースにアクセスできない。](#)

[解決方法](#)

[Windows OS](#)

[Mac OS](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Javaアプリケーションを介してSecure Access(SSL)プライベートリソースにアクセスする際に発生する問題について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- ゼロトラストネットワークアクセス(ZTNA)
- セキュアなアクセス
- セキュアなクライアント

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Windows 10
- Windows 11
- Secure Clientバージョン5.1.2.42
- セキュアクライアントバージョン5.1.3.62
- Secure Clientバージョン5.1.4.74

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

セキュアアクセスでは、さまざまな導入タイプを使用してプライベートリソースにアクセスできます。その1つはセキュアクライアントZTNAモジュールを使用します。

このドキュメントでは、Javaベースのアプリケーションを介してアクセスするプライベートリソースをすでに設定していることを前提としています。

問題：Javaベースのアプリケーションを使用してZTNAモジュールからプライベートリソースにアクセスできない。

Javaアプリケーションを介してプライベートリソースにアクセスすると、接続がタイムアウトするか、接続速度が非常に遅くなります。

これは、Javaソフトウェアによってデフォルトで実行されるIPv6へのIPv4マッピングによって引き起こされます。ZTNAはIPv6の代行受信をサポートしていませんが、初期プロセスで接続が失敗します。

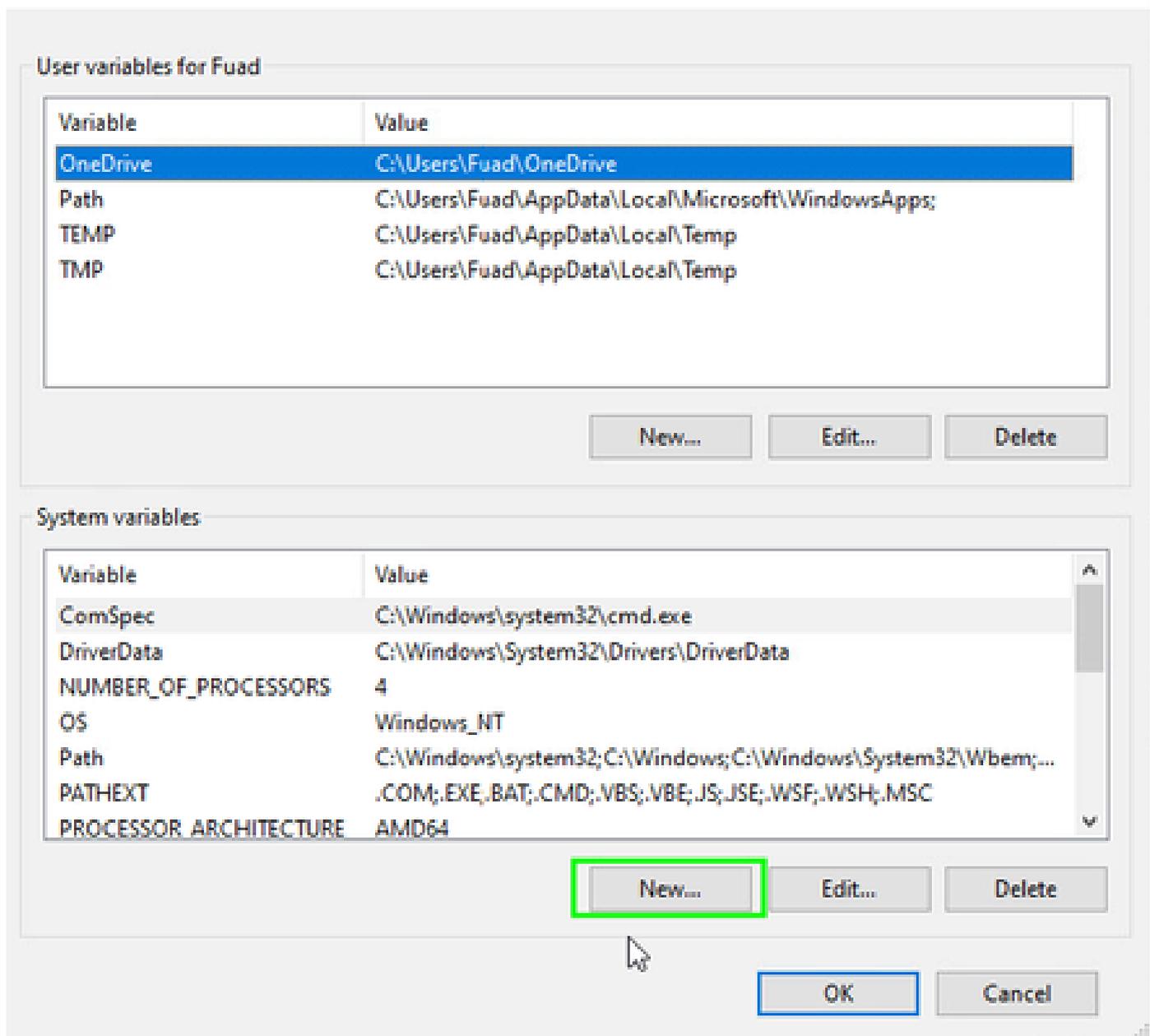
解決方法

JavaアプリケーションがIPv4からIPv6へのマッピングを実行しないように、ソースコンピュータでJava変数を設定します。

Windows OS

ステップ1:コントロールパネルにアクセスする ->システム ->システムの詳細設定 ->環境変数

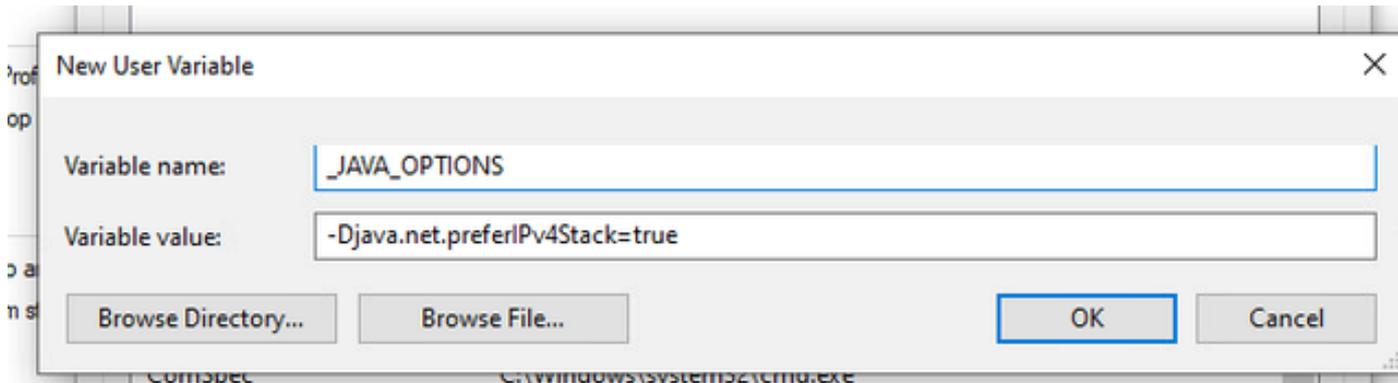
Environment Variables



手順2: 次の2つのシステム変数を定義します。

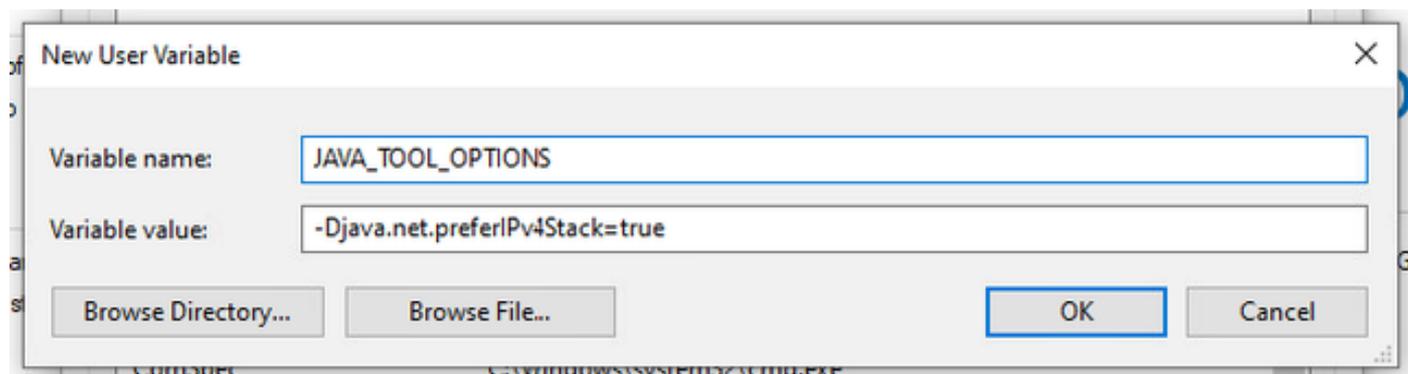
変数名 : `_JAVA_OPTIONS`

変数値 : `-Djava.net.preferIPv4Stack=true`



変数名 : JAVA_TOOL_OPTIONS

変数値 : -Djava.net.preferIPv4Stack=true



Mac OS

この行は、`/etc/profile` (global)または`~/.profile` (user-specific)のいずれかに追加できます。

```
export _JAVA_OPTIONS="-Djava.net.preferIPv4Stack=true"  
export JAVA_TOOL_OPTIONS="-Djava.net.preferIPv4Stack=true"
```

関連情報

- [セキュアアクセスに関する文書](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。